No.

名紙 大阪朝日 大正9年1月24日

名紙 大阪毎日 大正9年1月 日

名紙 大正9年4月8日

名紙 八幡 大正9年1月 日

製鐵所職工 又動く

勞友會總會 席上の主張

八幡製鐵所職工を會員とする勞友會は去る十七日同會本部に於て總會を開きたるが其の席上數名の會員は又復八時間制の實施方を製鐵所當局に迫るべしと主張し併せて舍宅のなき職工には住宅料を出さしむべしと唱へ贊成者多きより淺原同會長は然らば各員の同意を得て實行すべしとて翌日より製鐵所中央機關、第二小型、大型、外輪等の各工場職工の連判を求め已に五千數百名の贊成者を得たるを以て近く製鐵所當局に向つて正式に交渉を開始すべしと(門司電報)

なんばせん

八幡製鐵所の 慢性的怠業

犠牲者には三年間の生活費を用意して 新要求を提出せんとす

八幡製鐵所職工中の進歩黨とも目すべき勞友會(會員四千名)同志會(會員二千五百名)は昨今時間問題等に關し

賃銀問題

動搖の色あるが殊に伍長組長等の役付職工を多數包含せる同志會は來る二月上旬正式に發會式を擧行すると同時に昨年十一月提出せる要求案と略同樣の新要求案を提出し若し容れられずは斷然同盟罷業に出づべく

犠牲者を 出したる

場合には三年間の生活費を贈與すべく會員全部一日分の給料を積立てつゝある事實を公言して憚らず工場内に於ても放歌亂舞し昨年來の漫性的怠業氣分は一層濃厚を加へ來り何時勃發するやも測られざる形勢にあり、一方勞友會内部も白熱しつゝありて淺原會長は「勞友會が八時間制其他の要求を提出して其

解決方法 を予に一任せり

云々の風説は當らず」と否認し居れども二十一日夜の如き大内町なる勞友會本部に幹部會を開き徹宵何事かを凝議するなど雲行頗る險惡なり(門司來電)

支給 値上

……に勞ひ時に壓迫的に出づる事珍しからず監視の眼は炳々たりてあるが會長の意志は石よりも堅く飽迄初志の貫徹に努むべく奮鬪を繼續してゐる、聞くところに依……

昨 工 工 あ の 配 舞 ▲ を 手 さ つ れ

赤インキ

世界のうわさ

■英國のヂオン、アトキンス君は、ウオルトン、オンテームスの郵便配達夫として、四十二年間勤續したが、彼は就任當時から左手を失つてゐたが、立派な義務を果し了せた。

■昨年中、英國クロンダイクから約四十万磅の金を産出した。

●山雨製鐵

……するは義に勞働者に報ゆる事が餘りに微薄に過ぎた應酬を忘るゝ行爲ではあるまいか、諸君は意を安んじて可なり、私は近々に都から私以上の人を二人連れてきて萬一私が運動半ばにして不幸其筋の爲に拘引せらるゝ樣な場合のあつた時

▲其後人に 後を繼ぎ尚引かるゝ時は其次をといふ風に必らず初志の貫徹に努めるてあらうから、然し若し我要求にして容れられずんば最後の手段として或は一齊にサボタージュの行動をとる事があるかも知れぬ云々と

……の 要求を ……式に則り月五 ……位の等級を別 ……間短縮と舍宅 ……し爲一製鐵 ……れられざる時 ……名一齊に罷 ……ん事を決議せ

……間は八時間 ……別れ其他同所 ……給せられざる

▲……會員 對し一齊に檄を飛ばし當日中同會員にして最も勢力を有し急進派と目せらる製鐵所中央機械第二小形工場大形工場鍛鋼工場外輪工場運輸課熔鋼原料工場指付工場鑄物工場及ロール工場の約二千名の同會員中に

▲一瀉千里 に加入の連判状を取りたるがこれが爲め淺原會長は豫定の上京を中止し目下之が前後策を構じ製鐵所